

3月の衛研検査情報

～概要版～

農産物の残留農薬検査結果（令和2年1月）

食品中に残留する農薬等が、人の健康に害を及ぼすことのないよう、厚生労働省は農薬等について残留基準を設定しています。当所では、横浜市内に流通する農産物等に残留する農薬の検査を行っています。今回は、令和2年1月に各区福祉保健センターが収去した農産物の検査結果を報告します。

主な結果 1月に収去された、かぼちゃ、キャベツ、じゃがいも、トマト、菜の花、にんじん、はくさい及びりんご(各1検体)の計8検体について検査を行いました。検査の結果は、トマト、菜の花、はくさい及びりんご各1検体から延べ11項目の農薬が検出されましたが、残留農薬の規格基準値を超えるものはありませんでした。検査項目及び検出限界については、本文を参照してください。

衛生研究所WEBページ情報

横浜市衛生研究所WEBページでは、感染症情報、保健情報、食品衛生情報、生活環境衛生情報、薬事情報などを提供しています。検査情報月報では、アクセス件数をもとに、どのような情報に関心が寄せられているかを解説しています。



主な結果 令和2年2月は、コロナウイルス感染症について、横浜市感染症情報センタートップページ、大麻（マリファナ）について、インフルエンザ流行情報（2019/2020）、死亡率・致死率（致命率）・死亡割合について、衛生研究所トップページ、トキソプラズマ症について、EBウイルスと伝染性単核症について、B群レンサ球菌（GBS）感染症について、ライノウイルスについて、に関するページのアクセスが多くみられました。総件数は524,092件でした。



詳しくは横浜市衛生研究所ホームページを御覧ください



<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kenko-iryo/eiken/geppo/inspection-inf.html>

横浜市衛生研究所では、所内で行われた試験検査などの結果に解説を加えて、毎月、「検査情報月報」として報告しています。